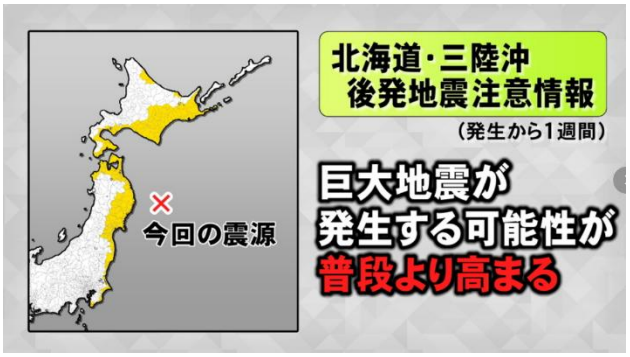
セカイのことをかんがえる KOMABA DAY

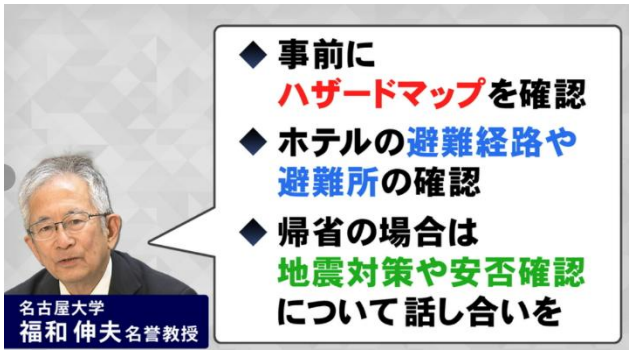
第 78 号　2026/4/22

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

地震を「正しく恐れる」

北海道から千葉までの 182 市町村に『後発地震注意情報』事前にハザードマップ等の確認を





4 月 20 日、青森県で最大震度 5 強を観測した地震で、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。

北海道から千葉県までの 182 の市町村を対象に 20 日発表された「後発地震注意情報」は、発生から 1 週間、巨大地震が起きる可能性が普段よりも高まっているとして、警戒を呼び掛けるものです。 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は 2022 年に運用が始まりましたが、きっかけとなったのは 2011 年の東日本大震災でした。 震災 2 日前の 3 月 9 日にマグニチュード 7.3 の地震が発生していて、この時、巨大地震に警戒するよう情報を出せなかった反省などから始まりました。

今回発表された後発地震注意情報について、政府は警戒を呼びかける一方で、経済活動を続けることは問題ないとしています。名古屋大学の福和伸夫名誉教授は事前にハザードマップを確認して、想定される地震の揺れや津波の高さなどを把握してほしいとしています。ハザードマップは自治体のホームページなどで確認することができます。また、宿泊先では災害時の避難経路や避難所を確認してください。ふるさとに帰省する場合は、実家の地震対策ができているか、安否確認をどのようにするかなど、この機会にぜひ話し合ってほしいとしています。

（Yahoo!ニュース）

4 月 20 日に起きた地震では、ニュースや SNS で避難を呼びかける動きが多くありました。また、今回のニュースにある通り「後発地震注意情報」が発表されるなど、今後の地震に備えるよう啓蒙する動きも活発です。過去の震災の教訓が随所で活かされています。今回地震が起きなかった地域でも救助・避難を想定したヘリポートが設置されたところがあるそうです。事前の備えが大切であることは私も身をもって体験しています。地震ではないですが、北海道に旅行した際に宿泊先で火災が起きたことがあります。警報が鳴り響いてすぐさま外へ避難したことを覚えています。あの時はかなり焦りましたが、学校で受けた避難の仕方を思い出し、正しい行動をとることが出来ました。日頃の防災教育や防災への関心がいかに大切であるかをその時思い知らされました。海外にいますが、日本に一時帰国・本帰国する際の事を考えて、日頃から防災に関心を持ちたいところです。（生井）